

第2回チャレンジ農園

9月29日、環境保全類型2年生18名が、6月に第1回チャレンジ農園で油木小学校2年生と植え付けたさつまいもを収穫しました。小学生8名からは「大きなさつまいもがとれてうれしかった」「ほりかたをおしえてくれてありがとう」とお礼の手紙が届きました。



牛の出荷

10月3日、三次家畜市場に子牛1頭を出荷しました。2月2日に生まれた子牛を285kgにまで育てた生徒達は出荷前から手入れを行い、当日は活気溢れる市場にとまどいながらも、はじめての競りに臨みました。



2学年東京方面修学旅行

10月11日から14日の3泊4日の旅程で、2年生が修学旅行に行き東京を満喫してきました。事前に班別研修の行き先を相談したり地下鉄の乗り換えを調べたりと楽しみにしていた旅行は、天気も良く全員が無事に帰着することができました。クルージング・ディナーやディズニーランド、劇団四季「ライオンキング」観劇、どれもすばらしい体験となりました。



3年生校外清掃活動

10月19日、3年生全員で校外清掃活動を行いました。日頃の感謝を込めて、8グループに分かれて町内のゴミ拾いをしました。出会った地域の方には「ごろうさま」「ありがとう」と声をかけていただきました。



第12回図書館まつりを開催します みんな遊びに来てね



日時：11月20日(日)
10:00～14:30
会場：シルトピアカレッジ図書館
お問合せ先：82-2002

10:00～10:30 読書感想文コンクール表彰式
10:30～11:30 おはなし会/エプロンシアター/
大型絵本/大型紙芝居/手あそび...などなど。お楽しみに!
13:30～14:30
KAPLAであそぼ!

主催：神石高原町教育委員会/神石高原町シルトピアカレッジ図書館 共催：絵本の会「ゆきんこ」



2011 12 December						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
*	*	*	*	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

● 休館日 ● 絵本のおはなし会

来月の「絵本のおはなし会」

とき 第1・3(土) ひる2時～
ところ シルトピアカレッジ
図書館内児童図書コーナー
おはなしする人
「絵本の会 ゆきんこ」

保健福祉センターだより

インフルエンザの予防

インフルエンザの流行が心配される季節になりました。インフルエンザは突如発生し、強烈に流行することが特徴です。

※2009年から猛威をふるった新型インフルエンザは流行が沈静化し、通常のインフルエンザの取り扱いになりました。

通常の「かぜ」(普通感冒)はのどや鼻に症状が現れるのに対し、インフルエンザは急に38～40度の高熱がでるのが特徴です。さらに、倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状も強く、これらの激しい症状は通常5日間ほど続きます。

また、気管支炎や肺炎を併発しやすく、重症化すると脳炎や心不全を起こすこともあり、体力のない高齢者や乳幼児などは命にかかわることもあります。

日常生活でできる予防方法

このほかに、日常生活の中でできる予防方法を紹介します。

1. 栄養と休養を十分取る
体力をつけ、抵抗力を高めることで感染しにくくなります。
2. 人ごみを避ける
病原体であるウイルスを寄せ付けないようにしましょう。
3. 適度な湿度、湿度を保つ
ウイルスは低温、低湿を好み、乾燥しているとウイルスが長時間空气中を漂っています。加湿器などを使って室内の適度な湿度を保ちましょう。
4. 外出後の手洗いとうがいの励行
手洗いは接触による感染を、うがいはのどの乾燥を防ぎます。
5. マスクを着用する
空気中のウイルスを自分の体に入れないため、必要な方はマスクを着用しましょう。かかってしまった人では、咳やくしゃみなどで他人に感染するのを防ぐ効果もあります。



お問い合わせ
保健課
☎89-3366

えいごの通信

産業課 ☎89-3367

特集 鳥獣による被害を防ぐためには

1 ノートリアとは

日本に生息するネズミの仲間では最も大きな種類です。基本的に草食性で、農作物では水稲の苗を良く食べます。流れが緩やかな河川や湖沼、ため池等の周辺に巣穴を掘って生育し、泳ぎが得意で潜水もします。

2 被害作物

水稲の被害が最も多く、次いで野菜(人参、白菜、ブロッコリー、大根、サツマイモ、大豆など)、果実(スイカ、メロンなど)にも被害が見られます。

水稲の場合、田植え直後の苗が柔らかい時期に被害が多発します。野菜の場合は、一年を通じて発生しますが、特に巣穴近くの植物が枯れる冬期に被害が多くなります。

3 被害対策
ノートリアは、水辺からあまり離れたがらない性質を持



(引用：農林水産省の野生鳥獣被害防止マニュアル-特定外来生物編-平成22年3月版)